利益相反自己申告書

（様式３）

岩手医科大学長　殿

論文名：

筆頭著者氏名（自筆署名）：　　　　　　　　　　　　　　記載日（西暦）：　　　　年　　　月　　　日

標記論文の全著者及び生計を一にする扶養親族の者は、下記①～⑭の経済的利害関係・産学連携活動等の関係をもつ法人等（企業・団体など）の活動について、昨年度及び今後１年分（見込を含む）の状況は下記及び別表（次ページ）に相違ないことを筆頭著者が代表して申告します。

① 年間100万円以上の企業、法人組織、団体等からの収入（技術指導等、役員・顧問職含む）

② 年間100万円以上の株式による利益（配当、売却益の総和）、株式（新株予約権を含む）を保有（公開株式は5%以上、未公開株式は1株以上、新株予約権は１個以上）

③ 年間100万円以上の知的財産権等使用料等

④ 年間50万円以上の１つの企業等からの講演料（企業等から会議の出席（発表）に際して、研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当（講演料等））

⑤ 年間50万円以上の１つの企業等からのパンフレット等の執筆に対して支払った原稿料

⑥ 年間200万円以上の１つの企業等が提供する研究費（受託研究費、共同研究費、臨床試験等）

⑦ 年間200万円以上の1つの企業等が提供する奨学（奨励）寄附金、⑧ 企業等が提供する寄附講座に申告者らが所属している場合

⑨ 融資、保証の受入（銀行などの金融機関以外）、⑩ 受託研究員等の受入、⑪ 法人等への学生又は他の学内教員の関与

⑫ 年間100万円以上の1つの企業等が提供する設備及び備品等の供与

⑬ 年間100万円を超える物品・設備・システム等購入および業務委託（教育研究のほか、仕様策定や機種選定、物品等導入に携わる場合も対象。また、機器の修理等、役務も含む。）

⑭ その他①～⑬以外の経済的利害関係及び産学連携活動に類似した活動の実施

-------------------------------------------------------------------------------------------

筆頭著者も含めた著者全員の利益相反の状況を申告し、上記の①～⑭に該当する著者は別表１を提出してください（デジタル入力で構いません）。論文修正の際に著者を追加する場合には、再度この申告書を提出してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 著者氏名 | 利益相反の状況（①～⑭の該当） | | 記載日(西暦) |
|  | □ 該当あり | □ 該当なし | 年　　月　　日 |
|  | □ 該当あり | □ 該当なし | 年　　月　　日 |
|  | □ 該当あり | □ 該当なし | 年　　月　　日 |
|  | □ 該当あり | □ 該当なし | 年　　月　　日 |
|  | □ 該当あり | □ 該当なし | 年　　月　　日 |
|  | □ 該当あり | □ 該当なし | 年　　月　　日 |
|  | □ 該当あり | □ 該当なし | 年　　月　　日 |

**別表１**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 著者氏名 | 相手方法人等名  （名称は略さず正確に記載） | 経済的利害関係および産学連携活動等の関係 | | | | 対象者  （氏名及び著者との関係） |
| 経済的利害関係・産学連携活動等の番号  （前ページ①～⑭から選択） | 対象活動の具体的内容 | 時期または期間 | 金額（内訳）  保有株数 |
| 例：矢巾太郎 | 例）○○○製薬株式会社 | ④ | 講演謝金として | 2022年  ５月２日、８月３日、  ９月２５日 | 500,000円  （３回） | ○○○○  （本人） |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |